

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

障がい福祉課長 半場 祐子

電話番号

0852-22-6256

事務事業の名称	ひとにやさしいまちづくり推進事業	
目的	(1) 対象	高齢者、障がい者をはじめすべての人
	(2) 意図	公共施設のバリアフリー化を進め、誰もが安心して社会参加できる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとにやさしいまちづくり条例に基づき、当該条例に関する重要事項の調査審議を行う審議会を開催する。また、整備基準に適合した施設の設置者等へ適合証を交付する。 ・障がいのある方や高齢の方などで歩行困難な方や、妊産婦の方に、公共施設やショッピングセンターなどで優先的に利用できる駐車区画（思いやり駐車場）の利用証を交付する。 ・県内施設のバリアフリー情報を提供する「しまね福祉マップ」を作成・運営する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 適合証の交付件数	目標値		130.0	135.0	140.0	145.0	枚
	式・定義 交付累計	実績値	125.0	127.0	130.0			
		達成率	-	97.7	96.3	-	-	%
2	指標名 思いやり駐車場利用証の交付数	目標値		6,500.0	7,250.0	8,000.0	8,750.0	枚
	式・定義 交付累計（返却分を控除後）	実績値	5,789.0	6,498.0	7,531.0			
		達成率	-	100.0	103.9	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	571	1,370
うち一般財源 (千円)	571	1,370

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> ・ひとにやさしいまちづくり条例に基づき、高齢者や障がい者が安全かつ円滑に利用できるものとするために必要な基準に適合することを証する証票（適合証）の交付件数累計 平成28年度：127枚、平成29年度：130枚（+3枚） ・思いやり駐車場利用証及び協定施設 利用証 平成28年度：6,498枚、平成29年度：7,531枚（+1,033枚） 協定施設 平成28年度：291施設、平成29年度：291施設（±0施設） ・しまね福祉マップ 平成27年度の改修以降、更新は1回のみ
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・思いやり駐車場利用証制度について、制度の周知が進んだことなどにより、交付枚数が引き続き順調に増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・思いやり駐車場について、歩行が困難な方などが駐車できないことがあるとの声が寄せられている。
- ・しまね福祉マップの更新がなされていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・思いやり駐車場の駐車区画が少ないことや、歩行が困難でない者の利用など不適切な利用がある。
- ・しまね福祉マップに掲載するバリアフリー情報を収集する体制がない。

③原因を解消するための「課題」

- ・思いやり駐車場を設置してもらえる施設管理者を増やす必要がある。
- ・思いやり駐車場利用証制度の理解を促進する必要がある。
- ・バリアフリー情報を収集するためのネットワーク構築、人的体制の整備の必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・全県で事業展開されている事業者などに対して、思いやり駐車場設置に向けて働きかけていく。
- ・思いやり駐車場の適正利用に関して、一層の周知を図る。
- ・しまね福祉マップに掲載するバリアフリー情報を収集するためのネットワーク構築及び定期的な更新体制の整備を図る。あわせて、県内外の利用状況（将来的な見通し）から更新の方向性を検討する。